

令和8年  
2026年

5月26日  
火曜日

第11956号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料〈前納〉  
年間 82,080円  
(税込み)  
6カ月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社  
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社  
☎101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
☎550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
☎812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



石垣牛流通協議会の総会が開催された……P4～5

CONTENTS

- ▶ 食肉加工メーカートップインタビュー  
丸協食産 松尾努代表取締役社長 …… P2
- ▶ 「父の日は牛肉を食べよう。モ～モ～キャン  
ペーン!!!」、MLAが6月21日まで開催 …… P3
- ▶ スターゼングループ2026中元ギフト<sup>®</sup>、こ  
だわりを感じるミートギフトは、「お肉が主役の夏  
のごちそう」 …… P4
- ▶ 石垣牛流通協議会が総会で植村会長ら再任、林  
総務大臣も登壇 …… P4～5
- ▶ 5月の米フィードロット飼養頭数は1158万4千  
頭、増加に転じる …… P5
- ▶ 日本惣菜協会が定時総会開催、新会長にフルッ  
クス社長の黒田氏 …… P6
- ▶ [JCA・4月] 豚肉、鶏肉好調も、牛肉、加  
工品動き鈍く5・2%増 …… P6
- ▶ 横浜食肉買参が第60回総会、佐藤理事長を再任  
…… P7
- ▶ 宇都宮畜産食肉事業協同組合が総会を開催、食  
肉の消費拡大を図る …… P7
- ▶ [SM販売統計調査4月] 畜産品の売上高は前  
年同月比4・9%増 …… P8
- ▶ ローソンがパウチタイプの本格おつまみ「炭火  
香る!」シリーズ発売 …… P8～9
- ▶ [輸入副生物現物相場] 端境期で実需停滞も下  
押しは限定的、コスト高と二極化が一段と鮮明に  
…… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 25日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 25日 …… P11

## 注目のヘッドライン

### 食肉加工メーカートップインタビュー 丸協食産 松尾努代表取締役社長

—変化を楽しみ行動、おいしさには妥協せず

…詳細はP2

### 「父の日は牛肉を食べよう。モ～モ～キ ャンペーン!!!」、MLAが6月21 日まで開催

…詳細はP3



Nipponham Group  
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

—食肉業界をリードする—



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5  
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

## 石垣牛流通協議会が総会で植村会長ら再任、林総務大臣も登壇

石垣牛流通協議会(植村光一郎会長=写真)は22日、2026年度総会を東京都内で開催した。総会では、25年度事業報告、26年度事業計画など、上程全議案が承認された。また、役員改選では、植村会長らを再任した。

植村会長は冒頭のあいさつで、同協議会発足5周年の節目となったことに触れ、設立からの経緯を振り返り、また当日も来賓として出席した林芳正総務大臣(右頁上写真)に感謝を述べた上で、「これからはフードチェーンのみならず、石垣牛を基にした地域

活性化にも取り組んでいきたい」と述べた。さらに来賓祝辞で林大臣は、農水大臣時代に植村会長と香港やベトナムで和牛のプロモーション活動などを通じて共に取り組んできたことなどを振り返っ



た他、牛をめぐる情勢については「繁殖、流通ともに潤うことはあまりない状況にあるが、ブランドの付加価値を高めて、世界中に売り込むことで、回りまわって生産者の皆さんがしっかりと将来に向けて取り組むことにつながる」と述べた。

続いて石垣市の中山義隆市長、農水省食肉鶏卵課の伊藤大介課長、農畜産業振興機構の天羽隆理理事長、沖縄県農業協同組合中央会の前田典男代表理事長、沖縄県農業協同組合の安谷屋行正代表理事長がそれぞれの立場からあいさつを行った。また、林大臣から石垣牛肥育部会に、中山市長から(株)エムアイフードスタイルに対し、これまでの石垣牛の生産・販売貢献に敬意を表して盾が贈られた。

26年度も共同生産出荷に関する協議、流通・販売などの検討および実施、トレーサビリティ検討委員会会議の実施、積極的な啓発活動の実施、地産地消の支援事業参加、生産拡大委員会の実施、SDGsの研究会参加等を計画。また、議案審議の最後には、植村会長が「石垣牛流通協議会 ブランディング7箇条」を説明。7箇条では、①需要と供給のバランスと販売場所②古い商習慣の打破と環境整備③消費者が欲しい生産物を④継続した供給で味覚をつかむ⑤審判員は消費者⑥品質の向上こそブランド化の



近道⑦消費者がすべての最前線にいる——としている。価格形成で最も大きな要素は需要と供給のバランスであり、売り手と買い手の対等な立場こそ良い商品が生まれる環境整備につながる。川上の生産者ほど、消費者のことを考えることが重要であり、物事の審判は消費者であることを常に心にとめておく必要がある。消費者の審判の下に生産者と流通事業者は正直で平等でなければならないとした。

議案審議終了後には、農水省食肉鶏卵課の藤谷洋平課長補佐が「牛肉輸出の現状とこれからの方向性」と題し、記念講演を行った。また、総会終了後には生産者・関係者交流会となり、参加者は懇親を深めた。